

令和5年度 第1・2回 合同番組審議会 議事録

1 開催年月日

令和5年10月5日（木） 午前10時00分～午前11時00分ごろ

2 開催場所

砺波市太郎丸2-129 北日本新聞社砺波支社 会議室

3 委員の出席

委員総数 6名

出席委員数 6名

出席委員の氏名（◎委員長 *欠席）

◎ 山本 仁史 70歳、男、砺波市文化協会長

杉野 秀樹 65歳、男、砺波市美術館長

山田 智恵子 60歳、女、南砺市商工会女性部長
有限会社山田文華堂取締役

富田 哲夫 43歳、男、元砺波商工会議所青年部会長
株式会社富田建築代表取締役

久保田 晃克 46歳、男、リアルール・プランニング株式会社代表取締役

山崎 匠 40歳、男、となみ青年会議所理事長
株式会社山崎組取締役

放送事業者側出席者名

河合 常晴 (株式会社エフエムとなみ 代表取締役社長)

古井 裕人 (株式会社エフエムとなみ 取締役業務部長)

高信 静枝 (株式会社エフエムとなみ 放送課長)

4 議事の概要

社長の挨拶に続き、放送番組についての説明の後協議へ。

その後は、番組編成などについて意見交換を行った。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

5 議題

1. 放送番組に対する評価

《対象番組》

・POPS おやじのミュージックマシンガン（2023年5月1日（月）放送）

POPS おやじこと藤井圭一さんが、60年代から90年代の洋楽のなかから珠玉の名曲をセレクトして紹介する30分番組。毎週月曜午後7時放送。

今年度は第1, 2週に井波地域で活躍する人をゲストに招いている。今回は、小西不動産、アキヤラボ代表の小西正明さんに井波地域での空き家の活用状況について話を聞いた。

（パーソナリティ：POPS おやじ藤井圭一）

・FUNFUN 出張版（2023年8月12日（土）放送）

富山大学放送研究会が制作する番組。隔週土曜午後6時放送。

番組を担当する2年生が、日々の学生生活について語り合う30分。

今回は、夏休みの計画や、就職活動前に行ってみたいところ、放送研究会の合宿についてトークを展開している。

（パーソナリティ：富山大学放送研究会 ちかがわ れいりん）

2. 番組編成に対するアドバイス

3. その他

6 審議内容（各委員の発言を要約して箇条書きで記載）

【杉野副委員長】

・「POPS おやじのミュージックマシンガン」について

音楽番組ということだが、月2回はゲストを招いているということで、どんな音楽が聞けるのかと聞き始めたが、2人のトークに引き込まれて、音楽を聞きたいと思わないくらいだった。

硬派な問題を柔らかく伝えていて、良い語り手だった。井波の人がラボを作っていること、町の中で課題に取り組んでいることに驚いた。井波のアイデンティティを一向一揆まで広げていったのにも驚きつつ楽しく聞いた。

個人的なことだが、最後にかかった曲が長年タイトルが分からなかった曲だったので、曲名を知れてよかった。

・「FUNFUN 出張版」について

落ち着いた口調だったが、もう少しメリハリをつけたトークをしてほしい。話の内容に広がりを持たせる等、放送研究会ということなので「作り上げる」ということも意識して番組制作してほしい。

審議対象番組として聞くと物足りない感じがしたが、普段何気なく聞いたら感想は違うかも

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

しれないとも思った。

・番組編成について

以前、災害時にFMとなみはどんな役割を果たすのかと質問したことがある。先日、砺波市の防災訓練に参加した際に、FMとなみととなみ衛星通信テレビとの間のブースで地域のお世話をしていたが、情報発信する人が近くにいるということに心強さを感じた。FMとなみの災害時の対応も見られた。引き続き、災害時の協力体制を作っていほしい。

【山田委員】

・「POPS おやじのミュージックマシンガン」について

新しい企画ということで地元の活動が紹介されていたので、いろいろな人に聞いてもらう番組に変わったのかなと思った。楽しく聞けて、こういう方向もありだと思った。

・「FUNFUN 出張版」について

言葉遣いが少し気になる箇所があった。私たち世代がチャンネルを合わせて聞くかは疑問に思ったが、彼女たちが楽しそうに話していたのでよかった。

・番組編成について

番組によってパーソナリティの名前がついていたり、いなかったりするが、誰のどんな番組か分かりやすいタイトルもいいのではないかな。

【富田委員】

・「POPS おやじのミュージックマシンガン」について

空き家問題という地域の課題を取り上げていたが、2人のトークが軽快で聞きやすく、分かりやすい構成だった。井波地域の勢いを感じる内容だった。楽しく聞いた。

・「FUNFUN 出張版」について

大学2年生の2人の日常が語られていたが、楽しそうで何よりと思った。ゲストが入るともっと面白くなるのではないかなとも感じた。

何とも言えない「ゆるさ」が若者にはいいのか、「ながら聞き」にはちょうどよいかと思った。

【久保田委員】

・「POPS おやじのミュージックマシンガン」について

最近車でFMとなみを聞くようになった。ゲストとのトークと思い出の曲、というありがたい構成ではあったが、ゲストの色が良く出ていたと感じた。

自分の仕事にも関連しているが、空き家問題について分かりやすく話していて、いろいろな人に聞いてもらいたい番組だと思った。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

・「FUNFUN 出張版」について

大学生 2 人の声は聞きやすかった。学生ならではの内容だなと思った。受験生など下の世代に、大学生の生の声を聞いてもらいたい。

【山崎委員】

・「POPS おやじのミュージックマシンガン」について

初めて聞いた番組だったが、井波の方が紹介する地域の課題、課題の解消への取り組みに聞き入った。藤井さんの軽快な口調と方言丸出しなところに親近感を感じた。地域の課題を取り上げることで共感を得られるが、放送時間によっては音楽を多めに聞きたい人もいるかもしれないと思った。

・「FUNFUN 出張版」について

軽快で、どんな女の子たちなのかと想像しながら聞いた。何を伝えたいのかがもっとはっきり分かるような構成がいいと思う。テーマを決めて掘り下げてもいいのではないかな。

【山本委員長】

・「POPS おやじのミュージックマシン」について

空き家問題は地域の課題でもあり、全国的な課題でもある。時代を反映した内容を掘り起こすという点でよかったと思う。この 1 回で終わらず、地域密着ならではの課題を大切にしてほしい。

月の前半 2 回がゲストを招いての構成ということなので、何か副題をつけて分かりやすくしてもいいかもしれない。

・「FUNFUN 出張版」について

普通の素のままで話している感じがしたが、もう少し演じてもいいのではないかな。どんなキャラクターで何を伝えるのかが、はっきりすればいいのではないかな。

話に「オチ」を作るのはとても難しいことだが、「オチ」のある話は楽しめる。「オチ」のある話も考えてみてほしい。

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

・「POPS おやじのミュージックマシン」

ゲスト出演会の副題について検討する（令和 5 年 10 月 6 日）

・「FUNFUN 出張版」

トークテーマを設けるなど番組構成について検討する（令和 5 年 10 月 6 日）

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

令和 5 年 10 月 6 日付北日本新聞朝刊に記事を掲載。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

FM となみの HP 上でも議事録を公開。

以上

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------